



8. 火災などを予防するための仕事

火を消したり、人を助けたりするほかに、
どのような仕事があるのか見てみよう。



火災を起こさないための仕事

火災予防

火災を起こさないために、建物の建つ前には、図面を確認して消防用設備などが決められたように設置することになっているか確認します。建物が建った後には、火災の時に正常に使えるか、図面通りに設置されているか検査をします。その後、定期的に火災の危険がないか、火災の時に素早く消火や避難ができるかを確認します。そのほかには、火災を起こさないように、いろいろな行事を通して市民に防火を呼びかけています。



火災調査

火災で燃えてしまったものから、火災の原因や被害の状況などを調べます。
調べた結果を資料として、同じような火災が起きないように、市民のみなさんに伝え、火災の予防に役立てます。



防災

大きな地震や洪水などの災害からみんなを守るため、町内会の人と訓練を行って災害に備えます。



消防音楽隊

パレードや演奏会を通して、防火の呼びかけをします。



消防団の仕事

消防団員って知ってる??

消防団員は消防職員とは違い、普段はサラリーマンや主婦、大学生など別の仕事をしており、火災などが発生した時に出勤しています。
みなさんが住んでいる家の周りにも消防団員がいます。



出動のようす

災害が発生すると、自宅や会社から出勤し、現場にかけつけます。
災害の情報は、消防団員の携帯電話にメールでお知らせしています。



消防団員の仕事

火災が起きた時は、消防職員が行う消火のお手伝いをしたり、渋滞を防ぐために歩行者や車の誘導を行ったりします。
普段は、消防職員と一緒に防火の呼びかけや応急手当の方法を教えています。

